準々決勝4試合が行われ、初の栄冠を目指す晴美台タイガース、春夏連覇を狙う千里丘イーグルスなどがベス4入りを決めた。準決勝2試合（千里丘イーグルス－晴美台タイガース）と決勝、4年生以下で行われる「第25回ジュニア選手権大会」の決勝は8月上旬に行われる。場所は未定。

関西団地軟式少年野球スー西脇ワイルドキッズ、美木多イーグルス

第92回中央決勝大会

準々決勝 17日、大阪府箕面市関西電力総合運動場

主催 デイリースポーツ、関西団地軟式少年野球連盟

後援 都市再生機構、URコミュニティ西日本支社

協賛 内外ゴム、オリックス野球クラブ

晴美台タイガース 5年生の井上サヨナラ打!!

ラストサマー先輩へ恩返し

サヨナラ勝ちに笑顔がはじける晴美台タイガースナイン（右下）最終回に同点適時打を放つ晴美台タイガース・北村

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	安	打
晴美台タイガース（泉北）	0	0	0	0	1	0	2			3	3
彰パープルキッズ（南大阪）	2	0	0	0	0	0	0			2	2

（英）井上、河野、山内－足立、井上（晴）北村－入船
▽三塁打 井上（英）

5年生の〝主将〟を担うしっかり者。しかし、大一番では先輩たちが支えだ。この日も「（6年生が）楽しんでこいとか頑張れとか、すごく声をかけてくれて打席に立ちやすかった」。だからこそ一打で恩返しできたのだ。

歓喜の輪に迎えられたのは、勝負強さが武器の下級生だ。晴美台タイガースの5年生、井上が殊勲のサヨナラ打。「6年生は（この大会が）最後なので絶対に打とうと思った」と、ラストサマーに臨む先輩への思いを込めた。

初回に奪われた2点を追う展開。得点機には井上が鍵になった。五回には二走として相手のミスの間に本塁へ激走。タイミングはアウトだったが、球審はコリジョンルールを適用して生還が認められた。そして七回、北村の適時打で1点を返した後、1死一、二塁から左前への一打で試合を決めた。

英彰パープルキッズ・井上主将

「コリジョンプレーが残念だった。みんな声は出ていたが、打てなかった。この悔しさを次の試合で勝って晴らしたい」

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	安	打
彰パープルキッズ（南大阪）	0	0	1	1	2	3	6	0	0	13	22
晴美台タイガース（泉北）	0	1	0	0	0	1	0	1	0	4	9

（彰）山内、笹井、井上、河野、足立、松本、小西、別所
（晴）村木、藤岡、船村、水谷、上川、有篠、西入、北、清越、井西、美下
▽二塁打 村木（晴）
▽三塁打 井上（彰）

初4強！美木多イーグルスに二刀流

多田が投打でW活躍

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	安	打
宮川少年野球部（兵庫）	0	0	0	1	0	0	1			2	6
美木多イーグルス（泉北）	0	0	0	2	1	×	3			6	6

（六回時間切れ）
（宮）別宮－正木（美）多田－中川
▽三塁打 多田（美）▽二塁打 別宮（宮）多田（美）

中島が決勝打

燃える二刀流だ。美木多イーグルスの多田が2試合連続で完投し、チームを初の4強へ導いた。

圧巻は「仲間がしっかり守ってくれていたので、絶対に抑えようと思った」という六回。2点リードの無死一、二塁から相手クリーンアップを3者連続三振に斬った。1死から重盗で二、三塁となっても「気持ちで投げる」と言うとおり、マウンドで気迫を見せつけた。空振り三振には、こん身のガッツポーズを連発した。

4番としても長打2本の活躍を見せた。四回、1死一塁から同点の左中間適時二塁打。続く中島の左前への勝ち越し打につなげた。

中島は「4番が打ってくれたから、気楽に打とうと思った」と大黒柱に感謝。多田も決勝打の中島について「足を生かして転がしてでも塁に出る」と勝負強さを信頼している。

3安打1失点に抑えた美木多イーグルスの先発・多田

宮川少年野球部・別宮主将「とても悔しい。チャンスで点を取れなかった。これからは、取るべきところで点を取れるチームにしていきたい」

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	安	打
宮川少年野球部（兵庫）	0	0	0	1	0	0	1			2	6
美木多イーグルス（泉北）	0	0	0	2	1	×	3			6	6

（宮）別宮－正木（美）多田－中川
▽三塁打 多田（美）▽二塁打 別宮（宮）多田（美）

土壇場同点!!西脇ワイルドキッズに歓喜

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	安	打
西脇ワイルドキッズ（兵庫）	0	0	0	0	0	0	2	2		3	6
新金岡ヤンチャーズ（南大阪）	0	1	1	0	0	0	2	2		6	16

（西脇の抽選勝ち）
（西）西村、小出－小出、東田浩（新）大筆－宮岡
▽本塁打 村上（新）▽三塁打 西村（西）村上（新）▽二塁打 重舛（西）小木曽（新）

抽選勝ちを祈る西脇ワイルドキッズナイン

新金岡ヤンチャーズ・大筆主将「チームが最後に余裕を持って気を抜いてしまった。もっとよく打ち、守れるチームにして、抽選をしなくていいチームになる」

抽選〝2連勝〟

西脇ワイルドキッズが抽選で勝ち上がり、初出場で4強入り。主将の山田は「最後まであきらめてなかったけど最終回はドキドキした」と、笑顔とともに胸をなで下ろした。

幸運の女神は土壇場でほほえんでくれた。打線は六回まで初回の1安打のみ。しかし、2点を追う七回1死から2連続死球と敵失で好機をつくり、笹倉が適時打。三走があわや挟殺の場面では、相手のミスで生還して同点となった。

抽選では全員がベンチ前で必死に祈りのポーズ。先発の西村は「抽選でもいいから勝つぞと思っていた」。救援した小出も「2年前に4年生だけの大会でも抽選で勝った。どうしても勝つと思った」と抽選〝2連勝〟を喜んでいた。

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	安	打
西脇ワイルドキッズ（兵庫）	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	5
新金岡ヤンチャーズ（南大阪）	0	0	1	0	0	0	0	0	1	2	6

（西脇）猪井、田村、出彫、井垣、川山、倉口、本田
（新）東今、川西、小東、瀬尾、長谷、笹谷、赤山
▽本塁打 谷戸（西）▽二塁打 山田（西）

交北タイガース

武村5回1失点 春夏連覇誓った

〈千里丘イーグルス〉

武村が5回1失点で完投。初戦は先発の川原をリリーフしたが「今日は自分だと思ってストレッチをしてきた」と準備万端で臨んだ。

「ボーッとしている走者への素早いけん制が得意」というのは、4年生まで捕手だった経験によるもの。かつてバッテリーを組んだ川原と2本柱で「春夏連覇します」と誓った。

粘投でチームに勝利をもたらした千里丘イーグルス・武村

交北タイガース・上中田主将「声も出ていたし、みんなの力は出せた。エラーが多かったのでしっかり練習して、大会で優勝できるようなチームになりたい」

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	安	打
交北タイガース（東大阪）	0	0	0	0	1					1	4
千里丘イーグルス（北大阪）	0	0	3	0	5	1	8			18	19

（五回コールド）
（交）西本、深野友（千）武村－魚住
▽本塁打 川原（千）▽三塁打 平山（千）▽二塁打 山田、深野友（交）佐竹（千）